

## 【記載例】

### 財 産 目 録

注1

(〇〇年〇月〇〇日現在)

区分・種別		数 量	金 額	備 考
特別財産	1 宝物 本尊 大日如来 〇〇像ほか	1 体 〇 体	—	
	2 什物		—	注2
	計			
基本財産	1 境内地 〇筆	〇〇㎡ (坪) 注3	〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円	注4
	2 境内建物 本堂・庫裏 ほか〇棟	〇〇㎡ (坪)	〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円	
	計			
普通財産	1 預金 〇〇銀行	注5	〇〇, 〇〇〇円	
	2 現金		〇〇, 〇〇〇円	
	3 その他	注6		
	計			
資産合計 (A)				
負債	1 借入金 〇〇銀行		〇〇, 〇〇〇円	
	2 預り金 源泉所得税		〇〇, 〇〇〇円	
負債合計 (B)				
正味財産 (C) = (A) - (B)			〇〇, 〇〇〇円	

注1 財産目録は、会計年度末現在で作成します。例えば、会計年度が4月1日から翌3月末日である法人は、「〇年3月31日現在」です。

- 2 仏像、神像等の宝物は特別財産として取り扱いますが、作成時に把握しているものを記載してください。一般的に評価の対象となりませんので、評価額の記載は必ずしも必要ではありません。
- 3 数量欄には、土地にあっては延べ面積、建物にあっては延べ床面積を記載してください。
- 4 金額欄には、原則として取得時の価額を記載します。ただし、取得時の価額が分からない場合は、土地にあっては固定資産課税台帳記載の価格や近傍類似価格または路線価等を参考に、建物にあっては合理的な方法により法人自身で算定してください。備忘価格として1棟1万円又は1㎡1万円としても結構です。なお、算定が困難な場合は「—」と記載することもやむを得ません。
- 5 法人財産として、会計年度末に有する預金・現金があれば残高を記載してください。
- 6 特別財産、基本財産以外に、山林や車両運搬具などその他財産として管理しているものがあれば記載してください。